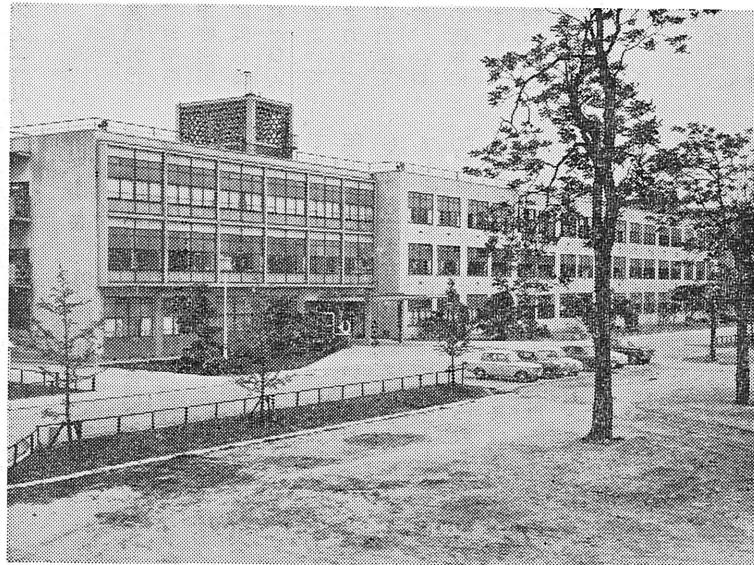


白城会通信



目 次

理事長挨拶	2
校長挨拶	3
四十一年度総会報告	4
新任紹介	4
転退職員挨拶	6
本年度進路状況	8
生徒会活動とクラブ活動	12
姿を変えた母校訪問記	13
ヨーロッパの旅	17
田舎モノ	21
支部通信	23
会員移動報告	25
本年度白城会総会案内	40
その他	

白城会通信第四号発刊に当つて



理事長 空 地 純 一

同窓諸君、お元気ですか。お待ちかねの本年度白城会通信が出来上りましたのでご高覽に供します。会館の壯麗さに比べて之はまた甚だ貧弱な体裁ですが、内容は担当者の努力によつて毎年少しづつでも会誌らしくまとまりつつあります。今後もかねてお願ひ申上げておりますように本部支部の便りは勿論、会員の動勢、面白い出来事、さては研究や趣味に到るまでどしどし原稿をお寄せ下され、バラエティーに富んだ記事を満載し氣の利いた装幀でもってお目見えする日の早からんことをお祈りする次第です。折角のご協力をお願い致します。

次に、昨年竣工式を挙げました会館はその後クラス会をはじめ学校関係或いはその他の面で予期通り頗る有效地に利用されておりま。恐らく公立高校の同窓会館でこれだけ立派なものには滅多にあるまいともっぱらの評判

です。皆様ぜひ一度はご来観下さい。会館から眺めた白鷺城の雄姿はご想像にまかせます。更に南を見おろしますと旧講堂や教室の一部が南西に移動され運動場が理想的に拡大されつつあり、やがてホールも出現することでしょう。数年後にせまつた母校創立九〇周年の記念祭の盛大さが思いやられます。会員も段々と増え今春五四一名の新入会者を迎えた。これ等の若人達に先輩としてご懇切なご指導を賜りますようお願ひ致します。会員の移動の内特にさる四月安水虎次先生がお亡くなりになつたことは旧会員にはさぞかし哀悼の念深いものがあつたこととお察し致します。

最後に一言申上げておきたいのは先般行われた姫路市長改選についてのことであります。が、戦争戦勝なる頃、校友と称して電話で而も無名で理事長としての心境を問いつられた。この上は同窓一同の名に於て、前任者石見元秀君（二九回）の多年に亘るご功績を感謝しご苦勞を嘆いておられると共に、新市長吉田豊信君（四〇回）に対し心から祝意を表すと同時にどうかお元気で立派に公約を実践され、将来の大姫路発展のため全力を尽して下さるよう大に激励申上げようではありませんか。

本校教育についての抱負



学校長 井内喜久次

質実剛健
たくましい心

身の鍛成

自主創造 ゆたかな個性の伸長
友愛協調 うるおいのある人間性の涵養

これは本校の校訓である。昨年全職員で協議し、更に起草委員が作った原案を中心いて研究して制定したものであって、本校教育の目標を総括的に表示している。教育指導の重点をあくまで人間形成におき、よき日本人になると共に国際社会に通用する日本人となることを目標にしている。

高校の正規の教科課程の履修に依つて望ましい人間性の涵養を期しているのであり、教科の学習指導を徹底するよう努力を続けていられるが勉学の態度として、物事を多面的に観察したり、徹底的に考察する修養を奨励して行きたい。また生徒は常に将来に大きな希望を持ち、夢を抱いて勉学するよう指導し、單に大学に合格するために勉学に努めるのではなく、これが姫中創設以来多数の人材を輩出したことによる。そこで課外活動も大いにぎりぎりやらせて「人間づくり」に精進したいと念願している。これが姫中創設以来多数の人材を輩出したことにより校庭に沿って常緑樹並木を造ることにより校庭に

た伝統的な教育方針であると確信している。職員生徒一同と共に手をつないでその方針で前進を続けたいのである。

その

ためには教育施設を更に拡充強化する必要がある。昨年五月関係各位の絶大なご尽力により新館の建築が完成して、一階が生徒仕出来るため学問をするのだという心構えを持たせたい。本校生徒の学力は兵庫県下の最高水準であって、生徒の優秀な学力に比例して立派な人間性を涵養させて国家社会の期待に沿える人材を養成したいと念願している。そのためには、たくましい精神と頑健な体力を保たせ、ゆたかな個性を伸ばし、すぐれた徳性を涵養させたい。この目標を達成させるためには正規の教科の學習のみでは十分でないので、高校三ヶ年は教科の學習に追われ多忙ではあるが、特別教育活動(課外活動)を励行させたい。即ちホームルーム活動とクラブ活動を可能な限り活発に指導し、生徒会の運営を適正に運営させる必要がある、しかかもこの特別教育活動は極めて能率的に短い時間に行わせたい。要するに勉学も大いにやらせ課外活動も大いにぎりぎりやらせて

クラブ活動を奨励するため旧体育馆、旧講堂を移築改装してそれぞれ室内球技場、柔道場として活用しているが、校庭六、〇〇〇坪を整備して現在のグランドを西側に約四〇〇米拡張し、西部全域をコート地域としてテニス、バレー、バスケットのコートを作り、グランドとコート地域との境を南北に落葉樹並木と通路と排水溝を作る。更に、校庭の南側に沿って常緑樹並木を造ることにより校庭に

緑を豊富にすると共に、校舎より眺めると姫路城、男山を借景とした立派な学校環境を実現したいのである。また二十五米水泳プールを新体育館の南側の地域に建設して全生徒に水泳能力を持たせ均齊のとれた体格をそなえさせるよう努力したい。

現在の在校生が二十年、三十年後には日本の運命を背負う地位に達していることを常に考慮して指導しているが、将来の社会の各分野の指導者として立派な活躍する人物養成を

目標に、たくましいからだに豊かな情操と強い意志をもち、国際社会に通用する教養をそなえ、人間性豊かな明朗快活な青年の育成に努力を続けたい、要するに校訓の実践に努力したい。このことが姫中の光輝ある伝統的精神を生かす道であると確信している。

以上学校長としての本校教育についての抱負をのべて、同窓各位の今後一層のご援助を願う次第である。

新任紹介

今春、新たにお迎えした新任七先生を簡単にご紹介申し上げます。

田村善太先生（社会担当）

龍野高校より。大学教育学部卒

廣瀬 広先生（国語担当）

姫路東高校より。姫中五五回生

改発孝明先生（数学担当）

学部卒

澄谷博紀先生（英語担当）

龍野高校より。学校卒

加古川東高校より。

大学教育学

部卒 姫路西高校六回生

星陵高校より。

大学高校教育科

高原智子先生（美術担当）

大学芸術学部卒姫西八回生

村井治男事務長

掛合財務事務所より。姫中四五回生

白城会の総会は毎年八月、お盆に最も近い日曜日に開かれることになっている。墓参りや夏休みに帰省される同窓が参加されよいことを期待するからである。昨年度は丁度八月十四日であった。日ざかりを避けて三時から栗田先生を始め多数同窓が集り、栗田先生のお孫さんの手で「鷺山の秋の」の歌碑の除幕が行われて後、四時から新装なった白城会館で総会が開かれた。清瀬一郎（12回）栗田肅夫（13回）の大先輩から先生方新卒の男女卒業生諸君に至るまで、二〇〇余名がにぎにぎし

四十一年度総会報告

く集つた。

理事長、学校長の挨拶につづいて、事業報告、会計報告が承認され、後記の議案が可決されて後、直ちに宴会になった。楽団が絶えず明るい音楽をかなで、ビヤホールの感じである。立食のために人の渦はたえず流れあって、ちこちで談笑の花が咲き、その間に賀集前校長の学校再建に寄せられた各方面の援助に対する感謝の言葉が胸にしみ、清瀬、石見、吉田、町田の諸氏など、政界で活躍する同志の元気なスピーチが来るべき選挙戦を予想させ

た。

「幹事／ビールがないぞ」という景気のよい声。ビールを急いで追加する一幕もあって日暮れ近く「鷺山に秋の夜は更けて」の大合唱

と白城会万才三唱の後、また来年会う事を約し名残りを惜しみつつそれぞの二次会に散つていった。

白城会通信が発刊されるまでは費用の関係もあって、一部の方にしか御案内が出来なかつたが、現在では全員に配布する白城会通信でお知らせしているので、出席の旨ご通知の上多数ご参加されんことを期待する。本年度総会は別記案内のように八月十三日（日）である。

決 議 事 項

一、白城会終身会費を来年度より月額五〇円三年間計一八〇〇円に値上する。（現在月額三〇円）

一、卒業生は、卒業四年後より三年に一回、三〇〇円の維持費を振替為替により本部に送金するものとする。

現在白城会の運営費は全部在校生が在校中に納付する終身会費に由つているので、諸物価、通信費の高騰により、運営困難なため終身会費を値上げせざるを得なかつたが、卒

業生も年間百円の維持費の負担することに決つた次第である。早速本年より折込みの振替用紙をご利用の上送金して下さるようお願い致します。

昭和40年度 白城会会計報告 (自 至 昭40.7.29) 昭41.8.5)

収 入 総 額	1,999,915	内	訳
支 出 総 額	1,269,876		
差 引 残 高	730,039		
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	968,628	会議費	26,025
〃 総会費	53,000	昭和40年度総会費	93,625
立替金返済受入 (改築後援会)	120,000	事務費(郵送費等)	396,744
在校生入会金及途中入会者金	538,470	印刷費(白城会通信等)	337,480
「先輩後輩」冊子売上金	3,350	事務・アルバイト料	85,200
立替郵送料返済受入	98,758	各支部連絡経費	80,440
名簿会計よりの返済金	173,285	会館経費	4,910
預金利子	44,424	名簿会計貸付金	200,000
計	1,999,915	慶弔費	12,200
		母校和楽会寄附金	4,320
		入会金の返済	150
		「先輩後輩」冊子補金	5,450
		記録写真代	23,332

上記監査の結果正当なものと認めます。

以上の通り報告します。

昭和41年8月14日

監査平野悦二郎
〃古地純一
理事長

転退職々員の挨拶

本年四月一日、多くの若い同窓生を長年教育して下さった先生方が転退職されました。

これらの先生方の居られぬ西高に空しさを感じられる方あります。幸い先生方の御意を表わしたいと思います。幸い先生方の御住所は末道（新姓丸山）先生の他は元のままですので、集り時などお出で願いたいものであります。

担任教科 着任年月 転任先

山田 利一先生（英語）昭和二十七年四月

白陵高校

宮北 要先生（数学）昭和二十六年十月

龍野高校

佐伯 純生先生（社会）昭和二十七年四月

姫路工大

松村 好浩先生（英語）昭和三十八年四月

姫路東高

林 教順先生（国語）昭和四十年四月

泰子先生（国語）昭和四十一年四月
親和学園

末道久美子先生（実助）昭和二十七年四月
東谷茂太郎先生（事務）昭和二十九年六月
御結婚

東播工高

山田利一

此の度本校を退職させていただきました。

着任以来十五年がまるで夢の様に過ぎてしましました。なつかしい諸君の御顔は終生忘れ難い想い出とつながって行きます。短気で我儘な性格のため数々の御不快御迷惑をおかけして今更乍ら恥しい限りです。五期から二十一期までの方々にはいつも毒舌を浴せたりコテンパンにやり込めたりして本当に申証がありません。教育にたずさわるものとしては努力もしないのに諸君の地についての精進のため本当に快適な十五年を過させてもらつてつくづく有難かったです。学級主任をして修学旅行に同行した五期生頬を赤くそめて授業に打ち込んでくれた八期生学年に長男

をおいて三年間もち上った十一期生は特に印象が深いです。三十六年間の公立学校勤務を光輝ある本校で終らせていただきて誠に光榮です。今後私学で教鞭をとりつけます。どうぞ健康で御活躍される様に心から祈っています。

宮北要

私が始めて姫路に参りましたのは、十五年前であります。当時の姫路は、今に比べたらはるかに淋しい都会で、西高の附近には気持ちのよい田園が開けて居りました。私は十五年の約半分は、伊藤さん経営の賄の御介になり、毎日、姫路城の北面を望んで暮して居りました。そして、その美しい田園風景の中を散歩するのを無上の幸福として居りました。その後、山に親しんで今では森林の中で山仕事のために悪戦苦闘していることが多くなりましたが、あの美しかった西高付近の田園を今も懐かしく思い出します。

数学は、人間の心の憧がれの象徴として的一面があるかと思いますが、私は今まで西高生諸君の、その憧がれの心に閉まれて過ごさせて戴いたことに、今更ながら深い感動と感謝の念を禁じ得ません。教えることの恩恵

の一つは、人の心を、それも特に、憧がれる
心を知ることではないかと、いま、しみじみ
考えて居ります。

佐伯純生

二十七年四月、教師の雛が姫路におり立ち
西高に、爾来本年三月まで周囲の暖かい見守
りと御指導により、どうにか一人前の教師ら
しくなつて、やつと巣立ちをしたようです。
現在「なくして判る親の恩」といった境地で
す。白墨のもち方から学校経営まで指導され
た賀集校長、片言隻句も出さずに叱られた堀
垣先生、じんわりと教師の使命を教えられ、媒
酌までして頂いた斎藤先生、生徒指導、教務
と仕込んで頂いた故大西先生、教材研究と
生徒とともにある授業の在り方を学んだ西牧
先生、良い意味の処生術を身をもって示され
た尾田、山田、長谷川の諸先生等々、指導者
同僚に恵まれた年月でした。後半は「言いた
いこと言い」の日々を過し、諸先生には迷惑
をかけたことと思います。同窓の皆様に五年
または三年の西高が、十五年も在校し、恩師
に恵まれた私にとって「心の生誕地」と感ぜ
られます。雛が成長するまでつき合つて頂い
た同窓諸氏には、汗顔の至りで、どうかお許

し下さい。

西高が栄ある伝統をいやまし、益々発展し
て行くことに、県内どこに在ろうとも陰ながら
微力を尽したい所存です。有難うございま
した。

松村好浩

西高で生活が始り、あちこちで「姫路コト
バ」が聞えたのは実に懐しく感じました。ま
たこの運動場、旧講堂、時計台などこれらは
二昔——ハンドボール競技にはるばる来たあ
の頃を蘇らせ、西高を一層親しいものにして
くれました。ここで三年半過ぎさせて頂いたの
ですが、実質は十九回期と始り彼らと共に西
高生活が終ったことになりました。この生徒
達と終始出来たのは幸せでした。開校以来の
大世帯の学年で、それだけに色々な可能性を
秘めた若人たち。過去を振返つて楽しく、將
來を望めば彼らへの期待も高まります。彼ら
は今や立派な白城会員。私のこうした親しい
友がこの会員と思えば、白城会への親しみも
一段と大きくなつてしまいります。

古き歴史と、伝統を誇る西高で、しかもも
立東播工業高等学校へ転任を命ぜられま
した。昭和二十九年六月に西高に赴任して参り
ましてより、丁度十三年の長い間お世話にな
りました。

緑の風かおる好季となりました。会員の皆
様には、いよいよ御壯健で、御活躍のことと
お喜び申し上げます。

林教順

ご厚誼のほど、深く感謝しております。貴
会のいつそうの御發展を祈ります。

東谷茂太郎

新任教は創立約三年余りの学校であります
ので、これからも設備その他についていろい
ろと問題もあるうかと思いますが、過去の経
験をいかして一生懸命努力いたしました存じて
おります。どうか今後共なお一層の御指導と
白城会の今後のご発展をお祈り致します。
終りに、西高在職中、ご親切にして下さった
白城会の皆様方に厚くお礼申しあげます。

御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。 多幸をお祈りいたします。

終りに、白城会の御発展と、会員諸兄の御

昭和四十二年度の進路状況

第十九回生主任長 田 中 秀 治

本年度の進路状況について簡単に御報告致します。本年の大学合格状況、進学状況及び就職状況は別表の通りであります。

本年度は御承知の通りベビーブーム第二年目にあたり、全国的に高校卒業生の数はその極に達し、本校卒業生の数もまた五百四十一名という西高はじまって以来の多人数であります。

したがって、その殆んどを占める進学希望者は当初より容易ならぬ宿命をになつて出發したわけであります。

さて、大学入試の現実は予想以上に厳しく全国的に浪人の進出が著しく、各校とも現役勢力は後退せざるを得ない羽目追いこされました。本校にもその深刻な様相はかなり影響し、一〇三名の優秀な未進学者を生じたことは心苦しい限りであります。

本年度の入試はいろいろな面で様相を一変

しており、その傾向は来年更に強くなるものと予想されます。

その一つとして、全国的に各高校の進学指導が徹底しており、いわゆる“穴場”というものが皆無になったことが目立ちます。從来有名大学に殺到する傾向が強く、比較的合格し易い優秀な大学がかなりあつたにもかかわらず、昨年来それが殆んど無くなり、私立大學、地方大学の受験者の質が著しく向上して来たことが大きな傾向の一つと認められます。そのため、卒業生達は到る所で思惑はずれの悲運を骨身にしみて味うという事態に直面しながら、終始元気よく、ねばり強く、意欲的に、破れて悔なき努力を傾倒したことを感じたいと思います。

このような状況ではありますが、当学年の一つの目標であつた東京大学に大きな伸びを認めしその数において兵庫県立高校第一位を

占めたほか、奈良女子大合格者数が日本一といふ実績を上げることが出来ました。

また京都大学、大阪大学、神戸大学をはじめ各大学において、例年を上回る入学者を送り得たことは、本年度卒業生を主力とする本校卒業生が“伸び行く姫路西高”的使命を進学の方面においても十分果し得たということではないか、と思われます。

なお、これら卒業生の受験、進学に際しましては、先輩の卒業生各位から積極的に、いろいろの御支援を頂きました。卒業生一同になりかわり、謹んで御礼申し上げます。

つぎに就職面におきましては、希望者はそれぞれ望む方向に就職できましたことを御報告申し上げます。特に姫路医師会館に七名の御採用を頂きましたことは偏々に同窓のおかげで痛感しております。その他、時節はそれでも拘らず同窓の御尽力により金融機関に御採用頂いたケースもあり、紙上を借りて同窓の皆々様に謹んで御礼申し上げます。

最後に晴れて大学に進学出来た者や、就職出来なかつたものも、一層の向上を目指して元気一杯、意欲的な努力を尽していることを申し添えて報告と致します。

進学就職状況

昭和42年度大学合格者内訳

大 学	学部	現 役			卒業生			計	大 学	学部	現 役			卒業生			計	
		男	女	計	男	女	計				男	女	計	男	女	計		
国 立 期	北海道 大	理類	2	2				2	國 立 期	徳島 大	教医	1	1	3				3
	東北 大	工	1	1				1		群馬 大	工	1		1				1
	千葉 大	教	1	1				1		電通 大	電通	1		1				2
	文 I	3	1							横浜 国大	経工	1		3				4
	文 II	2								富山 大	薬工	2		1				1
	東京 大	文 III		14	1			2		福井 大	織工	1		1				2
	理 I	5			1					信州 大	織	1		1				1
	理 II	1								静岡 大	理工	2		3				4
	東京教育大	文	1	1				1		岡山 大	工	1		1				2
	一橋 大	商	2							名古屋工大	工	8		8	5		5	13
大 学	東京工大	経	1							岐阜 大	医工	1		1				2
	お茶の水女大	法	1					1		滋賀 大	経	3		3	2		2	5
	金沢 大	社	1							京都工大	織	1		1				1
	名古屋 大	文	1	1				1		京都教育大	大	1	4	6				6
	三重 大	法	2							大阪外大	大	2	1	3				3
	京都 大	経	1							大阪学芸大	大	1	4	5	2		2	7
	農	5								神戸商船大	大	3		3				3
	医	4								奈良教育大	教	3		3				3
	薬	13						9		島根 大	理	1		1				1
	工	4						36		山口 大	経営	1		1				1
准 备 大 学	農	1								香川 大	農	2	1	3	1		1	4
	医	1								愛媛 大	農	1		1				1
	薬	1								九州工大	大	1		1				1
	工	8								鹿児島大	水産	1		1				1
	基工	3								國立二期大計		35	17	52	15		15	67
	文	2								國立大計		134	67	201	34	4	38	239
	教	2								防衛 大		2		2	1		1	3
	法	3								中央鉄道学 大		2		2				2
	経	5								水産 大		1		1				1
	営	3								職業訓練大		1		1				1
准 备 大 学	医	1								準大学 計		6		6	1		1	7
	薬	1								高崎 経大		1		1				1
	工	8								東京都立大	理	1		1				1
	農	3								横浜市大	商	3		4				4
	文	4								都留文科大	文	1		1				1
	理	1								名古屋市大	薬	1		1				1
	家政	9								愛知県立大	外国	1		1				1
	教	4								三重県立大	医	1		1				1
	医	1																
	工	3																
公 立 大 学	岡山 大	法文	1															1
	理	2																1
	文	1																1
	教	2	1	7														1
公 立 大 学	広島 大	工	3															1

大 学		学部		現 役		卒業生		計		大 学		学部		現 役		卒業生		計	
				男	女	計	男	女	計					男	女	計	男	女	計
公 立	京都府立大	文政		5	5	10	—	—	1	6	日本医大		1	1	1	1	1	1	1
	京都市立美大			—	1	1			—	1	明治塾大		—	—	1	1	1	1	
	大阪市大	商理		—	1	1			—	—	武藏野音大		—	—	1	1	1	1	
	大阪府大	医家政		1	2	3	—	—	2	4	共立女大	家政	1	1	1	1	1	1	
	神戸外大	経外國		5	3	8			—	—	実践女大	文	1	1	1	1	1	1	
	神戸商大	商管理		4	10	14	—	—	3	13	昭和女大	文	1	1	1	1	1	2	
	姫路工大	23		23	3	26			—	—	津田塾大	学芸	1	1	1	1	1	1	
	奈良県立医大			—	1	1			—	—	東京女大	文理	4	5	—	—	—	5	
	広島女大	家政		2	2	4			—	—	日本女大	文	1	1	1	1	1	1	
	高知女大	家政		2	2	4			—	—	神奈川大	文経	1	1	1	1	1	1	
大 私	長崎経大	経家		2	2	4			—	—	神奈川歯大	家	1	1	1	1	1	1	
	名古屋市女短	文家		1	1	2			—	—	名城大	文藻	1	1	2	1	1	3	
	大阪社会事短			—	1	1			—	—	同志社大	法商	2	19	1	9	28	28	
	滋賀県立短大			—	1	1			—	—	立命館大	文工	2	13	2	3	—	—	
	尾道短大	文保育		1	1	2			—	—	京都外大	文理工	1	3	1	3	6	6	
	山口女短大	看護		1	1	2			—	—	京都薬大	外国语	1	1	2	2	2	1	
	岡山県立短大			—	1	1			—	—	京都女大	家文	1	2	1	1	2	2	
	姫路短大			28	28	56			—	—	同志社女大	文家	1	1	1	1	1	2	
	公立大計			49	49	98	10	2	12	110	立	工社	2	1	1	1	1	2	
	千葉工大	文経		—	1	1			—	—	関西大	法經商	1	5	1	1	4	9	
立	慶應大	法商		3	15	18			1	16	近畿大	大薬	6	6	—	—	—	6	
	中央大	工商		3	7	10			—	—	大阪経大	大商	1	1	1	1	1	2	
	東海大	工社		1	3	4			—	—	大阪商大	大工	1	1	1	1	1	1	
	東洋大	工社		1	1	2			—	—	大阪工大	大医大	1	1	1	1	1	2	
	日本大	文理芸		1	2	3			—	—	大阪西医大	関西外大	1	1	1	1	1	2	
	明治大	経工		1	2	3			—	—	大阪歯大	大阪薬大	1	3	1	3	3	3	
	早稲田大	政経		2	5	7			—	—	大阪薬大	武庫川女大	1	1	1	1	1	1	
	国学院大	法商		1	2	3			—	—	関学大	文社法	2	6	1	2	—	—	
	東京理科大	理工		1	2	3			—	—	関西医大	経理	5	5	3	1	23	61	
	東京歯大	薬		—	1	1			—	—	甲南大	経理	7	8	5	3	—	—	
大 私	聖和女大			—	—	—			—	—	関西医大	理	1	1	1	1	1	1	
	東邦大	薬		—	1	1			—	—	神戸女薬大	經理	1	2	1	2	2	2	
	芝浦工大			2	2	4			—	—	海星女大	文	7	7	1	1	8	8	
	国士館大	法		—	1	1			—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	
	東京電機大	工		2	2	4			—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	

大 学	学部	現 役			卒業生			計	大 学	学部	現 役			卒業生			計
		男	女	計	男	女	計				男	女	計	男	女	計	
甲南女子大		1	1	2				1	賢明女子短		4	4	8	1	1	2	5
神戸女学院	文 家	1	2	3				2	龍谷大〃		1	1	2				1
親和女大		4	4	8				4	青山学院〃		2	2	4				2
松蔭女大		1	1	2	1	1	2	2	武庫川女〃		2	2	4				2
長崎造船大					1		1	1	夙川〃		1	1	2				1
立岡山理大		1	1	2	1	1	2	2	プール〃		2	2	4				2
神戸学院大		1	1	2				1	常盤短大		1	1	2				1
関西外大短		1	1	2				1	その他		2	2	4				2
東京女子短		1	1	2				1	私立大 計	97	90	187	49	21	70	257	
山手女短大		1	1	2				1	総 計	286	206	492	94	27	121	613	
帝塚山〃		1	1	2				6									
京都女子〃		6	6	12				6									

1. 卒 業 生 数 19回生

	男	女	計
人 数	322	219	541

2. 進 路 状 況

	進学	浪人	就職	その他	計
男	225	94	1	1	321
女	163	9	38	12	220
計	388	103	39	13	541

3. 大 学 合 格 者 延 数

	国立大	公立大	準大学	私立大	計
19現回生役	男	134	49	6	97
	女	67	49		90
	計	201	98	6	187
18卒回以前の生	男	34	10	1	49
	女	4	2		21
	計	38	12	1	70
	計	239	110	7	257
					613

就 職 者 内 訳

	金融保険	公務員	建設業	食料品	繊維工業	化學工業	窯業	鉄工業	小売業	その他	小計	計
男						1				1		39
女	10	3	1	2	1	2	2	5	2	5	38	

生徒会活動とクラブ活動

第十九回後期
全校委員長

尾俊行

先輩の皆さん、今西高の生徒会活動並にク

ラブ活動がいかに活気にあふれ、日々に進展しているかをお知らせしたいと思います。

生徒会活動とは、特別教育活動の一環として文部省が定めたもので、私達は「自主自治の学風に邁進せんとする」との目標に向かって執行部を中心に多彩な計画を押し進めていきます。生徒会執行部とは、二学年の各クラスから二名の推薦立候補者と三十名以上の署名立候補者の中から、立会演説会を行なったのち、第一次選挙によつて全校生徒代表八名が選ばれるのです。その八名のうち上位三名が第二次選挙を行ない、全校生の投票によって全校委員長が選ばれるのです。この選挙方法は、現行の前期・後期の二期制の選挙の際に行なっています。各委員は、副・文化・体育・刷新・施設・庶務・会計に分かれています。また一年間には、次のような行事を行ないます。四月新生歓迎文化祭、五月新人生歓迎技大会、六月校内弁論大会、姫路東西高校体育大会、九月文化祭、体育祭、十一月秋

季球技大会、十二月サッカー大会、三月文化発表会、読書会。

このような多彩な行事を通じて生徒会活動の活性化と親密化とを目指しているのです。

特色ある組織として◎（マルシー）制度があります。生徒会と同様に、特別教育活動の一つとして本校では、昭和三十年頃から始まり、いろんな変革をへて現在に至っているのです。これによつて土曜日の放課後一時間、全校生が自分の好きなクラブ活動に参加して

その喜びを知るのです。もちろん問題点もたくさんあり、執行部ではその改善に全力をあげています。

一方クラブ活動は、現在、総務部3、体育部12、文化部26、同好会3の計44の部が生徒会のもとに活動をつづけています。各クラブは次の通りです。

姫路西高連続三連勝

本年度姫路東西高校体育大会は六月三十日姫路西高で開かれたが、西高はよく健斗七対三、一引分で連続三連勝した。

優勝種目一バスケット男女、バレー男、テニス男女、柔剣道。惜敗種目一バレー女、テニス男女、引分サッカー。

文化部—文芸、物理、化学、生物、美術、音楽、演劇、吹奏楽、書道、地歴研究、弁論、謡曲、写真、筆曲、家庭科学、茶道、H.I.Y研究、地学、日本舞踊、弦楽、華道、珠算、園芸、ESS、時事研究、仏教研究、地学、日本舞踊、弦楽、

同好会—インター、アクト、ワンドーフォー、ゲル、バトントウアーリング、最近では特に体育部の活躍はめざましいものがあります。今年の六月に剣道部が県体で団体四位、個人総合一位で、八月の全国大会に出場、陸上部は昨年近畿大会出場、今年に入りて千五百障害県体三位、四百R五位で近畿大会出場、テニス部及びバトミントン部は例年市民大会上位柔道部は西播大会三位、バスケット西播大会三位、三位。

もちろん文化部も地味ちに活動しています。私達は先輩の業績にけつして負けずに、クラブに勉学に力いっぱいの高校生活をつづけています。

総務部—新聞部、放送、図書

体育部—硬式テニス、剣道、バドミントン、排球、軟式テニス、卓球、柔道、籠球、陸上競技、蹴球、体操、野球

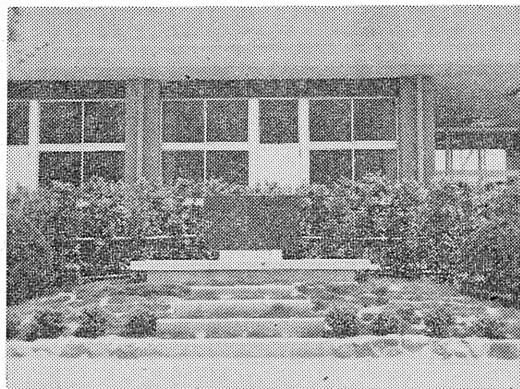
姿を変えた母校訪問記

われわれの母校が今、東光中学のある国府寺町から現在の伊伝居に移転して今年で満六年になる。当時荷車を引いて移転作業をした五年生は今では七七才のご老人である。それ以来姫中、姫路西高にわたって一万有余の同窓を育てて来た母校も、この十年間にすっ

かり姿をかえて、最近の卒業生でも数年を経て母校を訪ずれる人はその変化に驚かれるに違いない。故郷を遠く離れ又、近くとも母校を訪れる機会をもたれなかつた同窓諸氏に最近の母校の姿を文と写真でご紹介することにする。

姫路駅で神姫バスか市営バスに乗ると、バスは近代都市となつた五〇米道路を北上し、昔ながらの麗姿を誇る白鷺城に向い、大手門前を左折して、戦災をうけなかつた小利木町を通り、或は、元裁判所前を通つて、八代交番前を経て昔なつかしい塚本文具店の前に至る。所がバスはここでは降ろしてくれない。学校の前を西へまがつて学校の西南の十字路でやつと降ろしてくれることになる。急いで学校へ行きたい人は北へ行って、今年新しく出来た美しい西門を入れると玄関前にすぐつく。

昔をなつかしみたい人は停留所から東へもどることにしよう。昔守衛のいた門も、生垣も亭々とそびえていた楠の大木も、一階建の



「鶯山に秋の歌碑」

古びた木造校舎も今は無い。金網の垣ごしに中をみれば放課後ならばはつらつとした男女の生徒が白球を追つていることであろう。道を広くするためのやむを得ぬ処置であつたがあの堂々たる楠がなくなつたことはさみしいことである。東門も今はなくブロックの塀がつづき、新に植えられた櫻が美しいが、これが大木になるのは何時のことか。広くなつた東の道を城北小学校の方へゆくと、堂々たる校舎が東西に見え、現在の西高正門に出る。校舎の南を通る広い道は舗装され両側には歩道が出来て、南の運動場との間には芝生が長くつづき、銀杏の並木の緑が美しい。この銀杏並木もやがて東大の銀杏並木のようになることであろう。北には三階建の美しい建物があり、明るい朱色のテーブルがずらりとならび、生徒が楽しそうに談笑しながら、食事をしたり飲物をのんでいるのがみえるであろう。四百余人が一時に食事が出来る育友会経営の学校食堂である。定食、カレー、うどんミルク、パン、ジュース、アイスクリームなどがある。ノート、鉛筆もセルフサービスで

売っているのが見える。同窓諸氏の中には腹をへらしてひそかに伊藤さんの賄を行って空腹をみたしたことを思い出し、今昔の感にたえぬ人もある。土足であがった昔の中寮一階の食堂を思い出す人もあることであろう。

眼を会館の玄関脇に移すと、美しく輝いた石碑が櫻の生垣を背景に小高い築山の台の上にたつてあるのが見える。石段を登つて近づいてみると「鶯山に秋の」の歌碑である。われら同窓生の集るとき、姫中卒も西高卒も、若いも若きも必ずしも高唱する「鶯山に秋の夜は更けて」を、作者栗田先生(姫中十三回生)の美しい御揮毫を得てアフリカのキリマンジヤロ山産の黒御影石に刻んだもので、裏には空地理事長のこの歌の由来がほられてある。昨年の白城会総会の日、除幕されたものである。人かわり校舎もかわるとも同窓集まる所、この歌は歌いつがれてゆくことであるう。

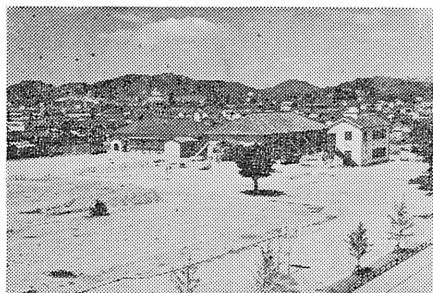
会館の前の舗道を西へゆくと三階の南本館の前へ出る。歩道の北側には玄関まで沈丁花がつづき、庭園は芝生も美しく作りなおされている。この沈丁花の花の匂は将来の卒業生に西高合格の喜びを思いおこさせるに違いない。ふと南をみるとおやつと思う。みなれた建物、作法室(旧柔道場)も雨天体操も講堂



本館側

もなくなっている。その西の唯一棟残つていった中寮もなければ、便所・講堂・旧校舎に続いた中央廊下も何もなくなっているのである。昔の賄の入口にあった松の木、中寮入口南にあつたいかにも強そうな木の外昔をしのばせるものがない。いや桜の木、旧校舎の中庭の東南すみにあつた山桜が校舎のなはれ少し広くなり、グリーンベルトをへだてて西は庭球とバレーのコートがずらりと並び、放課後は運動場一杯に生徒が球を追うことになろう。東西の門をつらねる舗道のロータリーの北に銀色に輝く丸屋根の体育館兼講堂が本館の西に出来ていた。中ではバスケットやバドミントンに生徒が汗を流していたが一三〇〇の生徒全員が席につけるだけあって広々として、舞台や幕も美しく、文化祭には公会堂を借りねばならなかつた不便さも今は昔語りである。体育館の西と校舎の北には自転車置場も新く整備されていて、舗装されているので雨が降れば泥んこになつた自転車置場も見覚えのあるドームのある建物の南に講堂は移築されて柔剣道場に内部は改装されていた。井内校長が卒業生の心の故郷を一つでも手に梅田修氏(四十四回)の汗という彫刻が先ず目に入る。右手には阿部知二氏(三十二回)の「友に与ぶ」の色紙がかけてあつた。

二階に上ると校長室・事務室・職員室など管理部門がある。事務室に入ると、流石姫中時代の人は誰もいないが、西高創立以来の黒塙（旧姓生田）事務官や二回生の藤本（旧姓河内）事務官の顔がみえる。職員室に行くと知野（旧姓）事務官の顔もふえたが、最古参の名倉先生を始め、西岡、長谷川、石坂、前田、真下先生のような昭和二十三年組、玉木、山崎、芥田先生ら二十四年組、井口、石原（旧姓片岡）井上周、吉田先生ら二十五年組、宮崎、橋の二十六年組の先生もまだ居られて、西高卒業の諸氏にはなつかしい。姫中の卒業の方



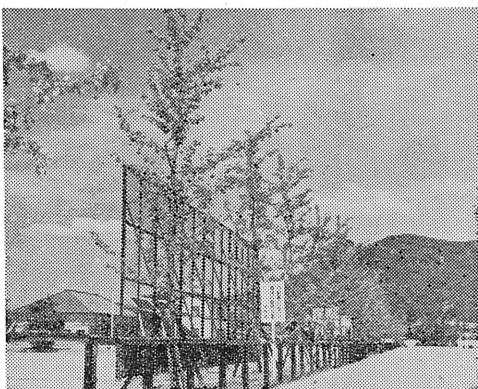
移築された講堂と雨天体操場

には先 生こそ おられ ぬが、五十四回の土居、五十五回の岸、北沢、田村、五十六回の荒

木、五十七回の有野、五十八回の橋、五十九回の柏原、下村、森下の諸教諭が、四十回の長谷川、四十三回の真下、四十六回の山崎、四十八回の石坂、五十回の西岡、また若い所で西高五回の井上博、沢田実助、九回の鳩川一〇回の家永諸教諭が後輩の教育に当たつている。職員室を出て東に進むと、教室にも廊下にも花が飾られて、共学らしいと思う。その突き当りが食堂の上の図書館である。坪田先生に迎えられて中に入るとい五〇名は入れる図書館には生徒が沢山静かに読書をしている。読書机の真中には、半透明の衝立がある。読書机の壁面には、半透明の衝立があつて向いの人に気をちらされずに勉強できるのもよい。入口の壁読書室には安楽椅子がある、生徒が新聞や雑誌をよんでいた。その西側の壁には尾田龍画伯（姫中三六回、旧職員）の作られた「光かがよう」と題する大理石のモザイク壁画が生命の躍動を示していた。この図書館に移ってから休暇中も開館されており卒業生で利用している人もある。書庫は開架式で利用者は自由に書架を行つて、自分の手で本を選んで読むことが出来る。もちろん索引カードも整備されていて、検索することも自由である。別に閉鎖書庫があつて景福寺時代以来の貴重な書物や文献が保存されており

当地方に他にない貴重な本や、学制発育聞もい。白城会文庫として先輩の著書も多く保存され、後につづく生徒に多くの刺戟を与えているのも伝統ある学校の有難さである。

図書館を通り抜けて、真赤なアスティルをはった階段をあがればシャンデリヤの美しい三階白城会館のホールに出る。シャンデリヤの真下の床に尾田先生のモザイク画のフェニックスが真赤な床の中央にある。北側はデラックスな洋間で、応接セットが六組あり、小



銀杏の並木

会合や、卒業生の集りの談話室になつてい
る。南側は南に城を望む四二層の和室で二間
にも分けて使うことが出来、同窓の会合や宿
泊に、また平常は生徒が琴や日本舞踊の練習
に使つたり職員の会合にも使わせてもらつて
いる。押入には豪勢な寝具が一杯であつた。

その西隣の部屋は湯沸場兼白城会事務室で清
潔な台所と、食器棚、卒業生のパンチカード
ボックス、事務机などが置かれている。更に
西の大きい部屋が小集会室で、白城会の総会
や宴会も開かれるのはここである。清楚なテ
ーブル、赤い椅子が美しい。ここは平素は数
々の西播中心校としての会議や小講演会が開
かれたりして、卒業生も同窓会によく利用し
ている。卒業生の母校愛の結晶は今や西高生
の誇りとなっているのである。これらの南本
館の北に渡り廊下でつながった北館があり、
一年生の普通教室の外に理科、家庭科、音楽
美術、書道の特別教室がある。北館の窓から
北をみると、広峰の山などこかわっていな
いが、マイクロウエーブのパラボラアンテナ
がくつきりみえるのも新しく、昔は一面の田
であった所は北も西も新しい家が建ちならび
姿を一変してしまっている。この変わり方こ
そ、この数年、大雨のたびに、伊伝居を水浸

しにする大水の原因でもある。

新しく変わった姫路西高の御案内もこのあ
たりで終りにしようと思う。校舎は變り、人
また変わつても西高が西播全中学生の憧れの
的であることは變らない。兵庫県尋常中学校
として、姫路の地名を冠する必要のなかつた
県下唯一の中学校として、兵庫県下一円の秀
才を集めることは今はできなくとも、今もい
がぐり頭の西高生は、姫中の誇りを受継いで
国家有為の材たるべく勉強に運動にはげんで
いるのである。

(石坂記)

白成会館の同窓会の利用状況

白成会館の同窓会の利用状況											
											月日
											回数
7 10	6 26	6 19	6 18	6 5	5 31	5 29	5 25	5 22	5 21	5 20	月日
西高 4回	姫中 36回	姫中 30回	音楽部同窓会	白城会理事会	姫中 40回	姫中 29回	姫中 48回	姫中 31回	姫中 50回	姫中 55回	回数
8 13	8 12	8 11	8 10	8 7	8 6	8 4	8 3	7 24	7 24	8 18	月日
西高 5回	姫中 4回	西高 17回	西高 18回	西高 19回	西高 18回	西高 19回	西高 18回	西高 19回	西高 19回	西高 16回	月日
西高 4回	西高 17回	西高 18回	西高 19回	西高 18回	西高 19回	西高 18回	西高 19回	西高 19回	西高 19回	西高 16回	月日
(旧)	(旧)	組	組	組	組	組	組	(旧)	(旧)	(旧)	月日

月日											
											回数
											月日
1 O高 懇親会 N B 西C	11 30	11 26	11 20	9 18	9 11	8 29	8 28	8 27	8 21	8 20	8 19
1 B15 懇親会 N B 西C	1 48回	1 46回	1 34回	1 32回	1 15回	1 12回	1 11回	1 10回	1 9回	1 8回	1 7回
5 27	5 21	3 26	3 25	3 12	2 16	2 15	2 3	2 1	1 31	1 27	1 8
5 姫中 51回	5 33回	3 学級 回	3 中學級 回	3 高學級 回	2 原學級 回	2 西高學級 回	2 西高學級 回	2 井學級 回	1 西高學級 回	1 西高學級 回	1 西高學級 回
3 姫中 51回	3 33回	3 学級 回	3 中學級 回	3 高學級 回	2 原學級 回	2 西高學級 回	2 西高學級 回	2 井學級 回	1 西高學級 回	1 西高學級 回	1 西高學級 回
(石)	(森)	(下西)	(田)	(下西)	(森)	(下村)	(下村)	(永)	(永)	(永)	(永)

ヨーロッパの旅

尾田 龍 (36回)

会員寄稿



こんどの旅行でミケランジェロを全部みた。まるで美術全集の中を歩いているような旅で、ことにイタリアなど日本人が珍しがられるような小さな町や村の教会や壁画なども丹念に見てきたが、何にいちばん感銘をおぼえたかときかれると、やはりシステム礼拝堂のミケランジェロ。それも「最後の審判」である。あまりあたりまえの返事かもしれないが感激したことは事実である。同じ礼拝堂の天井の壁画より私にはこの方が魅力があった。十米に二十米の大壁画に一つのテーマをかいたこの大ドラマは、圧倒的な力強さをもって見る人にせまつてくる。天井の絵は一五〇九年から一二年へかけての作で、「最後の審判」は一五三六年から四年へかけての製作だといわれている。この間の彼の芸術家としての成長を考えても良いのではないかと思う。

彫刻はやはり最晩年の作品であるロダン二のピエターがいちばんすぐれている。死にいたるまでのみをいれていたという未完成の遺作だが、つましくも敬虔な宗教的情感と、背すじの寒くなるような人間のかなしさを表現した傑作である。おなじピエタでもヴァチカンにある青年時代の作品は、なるほど

美事でうまくまとまっているがこれなど深く心にこたえてこない。製作の途中で計画を変更したらしくとんでもないところにキリストの右腕がのこっている。写真でみたときは理解できなかつたが、実物をみるとそんなことは少しも邪魔にならない。この彫刻一つ見るためにはるばるここまで来てもよいと思つた。ロダン二のピエタはミラノのカステッロ・フォルツェスコにある。

ピエタといえばルーブルにあるアヴィニヨンのピエタと呼ばれる絵もすばらしかつた。作者はだれだかわからない。ルーブルへ行つたら是非みたいと思つていた絵なので、これを発見したときは胸がおどつた。弓なりに反ったキリストと悲しみのきわみにある人々との緊密な構図が見事だが、何よりも強くせまつてくる静かな情熱にうたれる。

昔からいろいろ写真をみてもラファエルは匠気にみちたどうにも好きになれない画家だったが、実際に彼の作品をみると、構成は抜群だし、内容は豊かで、技巧も完璧でしかも氣品がある。複製のあてにならないことは知つていて、こんなにちがうとは夢にも思つなかつた。

ボチチェリーも複製で想像していたよりも

ずっとすばらしい画家で、ウフィツィ美術館に「春」と「ヴィナスの誕生」が神秘とロマンの香氣をたたえて静かにならんでいるところはやはり息をのむほどの見事さであった。

パリやロンドンの美術館にあるメソポタミア、エジプト、ギリシャのもの、それからスペイン、エジプト、ギリシャ、トルコの美術館にあるそれぞれの国の傑作がすばらしかつたことはいうまでもない。こうかいてくるといずれもルネッサンス以前のものばかりに感激しているようだが、事実その通りでどう考えてみてもそれ以後の作品からはそれほど強い感銘をうけていない。そのくせルネッサンスの頃の絵ばかりみていると、むしろ現代美術がみたくなり、パリの近代美術館とロンドンのテート・ギャラリーで現代美術を見てやつと胸のすくおもいをした。それはどういうことなのかいいまよくわからない。いずれゆっくり考えてみたい問題のひとつである。

今度の旅行はヨーロッパの美術を見るとともにもちろん大いにかくつもりでいた。ただ時間にしばられて思う存分かけなかつたことを残念に思つてゐる。もつともどこをむいても絵になるところだから存分にかこうと思つ



ウエスレー
トロント

たらむこうで生涯くらして
も十分とはいえないだろ
う。

いちばん魅力のあったの
はスペインの最南端のマラ
ガで、ここは地中海に面し
たあかるい港町である。建
物がみんな真白で、窓の明
るい緑色と屋根の赤褐色と
の調和が美しい。さまざま
な色の春の光がいっぱいに
咲きみだれている。同じよ
うにあかるくかがやいてい
てさらに大規模なのはナポ
リだった。ヴェスピオスを
後にしたゆるいスローペに
色彩に富んだ建物が海岸ま
でひしめきあっている。地中
海は独特的のトルコ玉をと
かしたような色で、ことに
早晩と日没は今まで見たこ
とのないほど色彩豊かな美
しさだった。ローマから海
岸ぞいの旧街道を通って小
さな港町をいくつかすぎた

が、この美しい町や村を横目で見ながら、必
ず近いうちに地中海の沿岸をゆっくりとかき
来るぞと決心した。瀬戸内海に似ているが
瀬戸内海よりもっと美しい海の色、空の色、
山の色、建物の色、みんな日本人にとっては
じめてみる色である。

ヨーロッパは海岸だけでなく農村も美し
い。つぶさに田舎までいってみたのはギリシ
ヤ、スペイン、イタリア、フランスの四カ国
で、イタリアはナポリからベニスまでアペニ
ン山脈をこえて縦に長い国を縦断したし、フ
ランスはヴェズレー、ディジョン、ストラス
ブルルとブルゴーニュ、アルサス地方がある
いてきた。春を追って旅をしたわけでいたる
ところけぶるような新緑と、果樹の花、花壇
の花々が色あざやかにむかえてくれた。田舎
の小さな町の美しさ、そこに住む人々の人柄
の良さは忘れられない。

都会もそれぞれ個性のはつきりした面白い
まちが多かったが、興味深かつたのはイスタン
ブールで、東洋と西欧的なもの、古いもの
と新しいもののいりまじった不思議なまちで
ある。東ローマ帝国の遺跡が至るところに残
っているが、木造建築の日本では考えられな
いことで、このようなものを見るたびに歴史

の厚味、権力者の富の豊かさを強く感じた。

外国语は英語よりむしろロシア語の方がさかんに使われているのも旅行者にはめずらしい。

パリは私にとって案外なじめなかつた。短かい滞在期間でわかるものかと言わればそれまでだが、長く滞在して土地になじめばどこでも良くなつてくるであろう。もつともパ

リにいた間は身体の調子があまりよくなつたとか、ホテルがよくなかったとか理由は案外そんなどにあるかもしだれない。

ただ同じように短い間いただけだが、私はローマやロンドンの方が面白かった。ロンドンに興味をもつようになるなどとは行くまで予想もしていなかつたが、重々しくもつたいぶつた市街と黒ぬりの数十年前と同じ型の車がはしり、いまだに頑固に山高帽に三つ捕を着て、傘をもつてあるいている人が多い。

古典的な都會に似合わず、青年たちはビートルズのような恰好をしたのが多く、少女たちはテニスのショートパンツのようなミニスカートで山高帽のおじさんと肩をならべて瀧歩している。この連中はヨーロッパの他の都市ではほとんど目につかなかつたがロンドンにいちばん多い。テートギャラリーで国際展を

開いていたが、イギリスの青年作家たちの仕事に造型芸術の新しい方向を切りひらいて行こうとする熱意はたしかに感じられた。それを考えあわせてミニスカートやビート族もただ軽佻浮薄という言葉だけで片づけられない氣がする。重くのしかかつてくる権威に対する反抗がこのような形になって現われてきてゐるのだと考えたい。

ビートルズのようなスタイルの青年は概して芸術青年なので、國際展にもこの連中がたくさんいて熱心に絵をみたり議論をかわしてゐたが、私は何かロンドンには既成のものを破壊して新しいものを創造しようとする青年のエネルギーが渦まいている気配を感じた。

イギリスは斜陽国だと考えられているが、底にたくわえられたエネルギーのものは決してなくしていいないと私は思う。

イギリスの美術行政の機構はなかなかよくできてい、このようない見アナーキーな芸術運動にも理解が深く、新しいものを育てようとする熱意をもつてゐる。そんなことをいろいろ考え合わせてみると、このロンドンの青年たちは明日の美術の世界に重大な発言をするにちがいないと私は期待している。

ヨーロッパを見ているうちにいろいろな疑

問や問題にぶつかって、それがみんな今後の宿題として残されることになった。その第一は、生活環境も考え方もちがうヨーロッパでうまれた油絵を、日本人である私がどううけとめるかということである。ひまはかかるだろがこれが解決できないことは絵がかけない。むつかしい問題にこれから取りくむことになる。

はじめは同じ行くなら南米か中近東の方が面白そうだと迷つたが、若い頃から西欧の空を眺めながら育つたわれわれとしては、一度は行つて自分の目でたしかめた方がよいと考えなおしてでかけたのだが、行つただけのことはたしかにあつたと思っている。

(尾田先生は昭和四十二年三月二十四日に羽田を出られて四月二十七日に帰国されました。編集者)

会員のご寄稿を願います。送先白城会本部



田舎モント

越後亮二（西七回）

て参りました。

出張の帰途、久方振りに母校に恩師石坂先生をお訪ねし、昔日の想い出話にふけったのも束の間「同窓会誌『白城会通信』に何か書かんか」ということで、お土産としては小学生には少々荷が重く、帰宅後も苦慮の種でした。西高時代も国語は不得意中の不得意の科目で、これが吾が人生航路に指針を与えてくれたネガティブな要因となつたのであってみれば、いずれ力んでも名文で氣の利いたものは書けるはずがない……。かよう考へてゐる中には気が楽になり「何か」書いてみようという気になりました。

まず簡単な自己紹介をさせていただきますと、昨春永きに亘つた学生生活に別れをつけ九州大学工学部応用原子核工学科に赴任し、目下雑用のかたわら研究と教育に従事しております。大学時代は機械工学科に在籍して熱工学の研究の真似事のようなことをやりました。いずれも古色蒼然としたトピックスのようですが前者はロケットの燃焼、後者は原子力発電とも関連して脚光を浴びるようになつ

私は工学を専攻してよかつたと思っていました。と申しますのは工学という學問が難で、能力や才能のない小学生にも研究に従事できるので性に合つているからです。工学においては論理の展開は単純で比較的容易である……。これが私の研究哲学です。比較的と書いたのはお金と時間の問題が関係しているからです。論理を構成する主体はあくまでも実験事実で、その断片と積み重ねから論理の糸をたぐり、新しい興味ある事実があればこれに理論的証明を与えるため数学を応用して検討する……。これがルーティーンです。尤も工学といつても範囲が広く専門によって自ら研究手法も異なりましようし、他の工学者の御叱責を受けますので「私の専攻する工学」と訂正致します。ここで大切なことは実験にしき計算にしろ大変シンドイ仕事であるということと、頭脳より体力、才能より根気が必要だと思います。

私は一〇年間という長い東京での生活で都会の空気にかなりなじむことが出来ました。上京当時は都会の人に対しても何か劣等感のようなものを感じずにはいられませんでした。何でも日本一、日本唯一、あるいは東洋一とか世界一といったまくらごとばがつくのが多く圧倒される上に、歯切れのいいペランメエでまくしたてられでもすればホトホトイやになつたものです。これを逆の立場からみれば東京人は田舎者に對して優越感を持つていって、他愛ない自己満足に陥入つてゐるものでした。私もやがてはこのような人種の仲間入りをした訳ですが、これには殆ど抵抗もなく、なつてみるとまたこれらの人種は意外と田舎者が多く、やがて自分の脳裡からかような意識が薄れていたようです。

計らずも最近これと似たような経験をしました。一九六六年夏、燃焼の国際シンポジウムに出席、そのほか所用もあって約一ヶ月程度の日程で渡米しました。飛行機に乗るのも初めてでないし、大したことはないサ…と努めて平静を装い、夜八時頃羽田でタラップを昇りました。英会話は西高時代以来進歩はありませんが、長年FEN放送のニュースを聞く習慣のあったことと、大学院の時にパキスタ

ン留学生と一年間同じ研究室にいて簡単な意志の疎通は出来るようになつてゐるつもりでした。ところが出发後間もない頃から珍奇なことばかり……。まず日本時間で夜中一二時頃には東の空がしらみ始め、最新流行でようか、オバケのように顔の前の方にまで髪をたらしたスチューワーデスが“カフィチ”“カフィチ”とふれ歩いていて私の処でも同じ音声を発したが判りません。彼女は両手にポットを一つづつ持つてるので Coffee か tea かと聞いているらしきことがやゝと判る……といつた始末です。アラスカからサンフランシスコに着き、税関ではお土産に持つていった焼ノリの説明に窮し、空港ロビーでは八月というのに暖房がしてあり、戸外の人々は冬オーバー姿あり、毛皮姿あり……ホテルでもチームが通つていて、すっかり面喰つてしましました。翌日シスコ郊外のバークレにあるカリフォルニア大学に着きました。大学は東大本郷の数倍はありそうで、同大学には他にキャンパスが七つほどあるそうです。構内は緑が多く、女子学生がセパレーツ水着姿で芝生にころんと日光浴をしていたり、北美はどうでもそうですがリスが大変多く、全く人間を恐れないのも珍しい風景でした。

シンボジウムの方は参加者六〇〇人以上で、いうことで夫人、子供同伴者が多く、連日パーティとか招宴があり、各国の著名な学者や新進気鋭の研究者とも親しく接することができました。シンボは一週間続きましたが、私の講演は最終日で、会期中落ち着きませんでしたが、雰囲気に少し慣れられたのは幸いでした。しかし、米国内大手五つの航空会社がスト（大手一社と中小会社のみ運行）でうまく東部へ行けても帰れないかも知れない……：：：という噂も伝わってきて平静を装うどころか、すぐ日本へ帰ろうかと真剣に考えたりしましたが、シンボ最終日、確かに三ヶ月振りにストが解決しました。予め依頼を受けていた NASA（米航空宇宙局）中央研究所での講演のためシカゴ経由でクリーヴランドへ飛び一時間ほど講演をし、研究スタッフと討論して所内見学をしました。当研究所は非公開であるため普通は入所できず、貴重な収穫でした。スト解決直後のため多勢の人が動き出し飛行機の予約がうまくいかず、会社側の suggestion も猫の目のように変わるのでついカツとして文句を言おうにもペラペラとはいかない悲しさ、東洋人だと思つて馬鹿にされているのではないかとひがみ根性が出てくる始末です。結局予定ルートを何回も変更してクリーヴランドからフィラデルフィア、ワシントン、ニューヨーク、トロント（加）エドモントン（加）、バンクーバ（加）、シアトル、ロス、ホノルルと歩いて来ました。フライデルフィアとエドモントンではワイフの知人の手厚い歓待を受け旅の疲れをいやし、また西欧人の家庭をかいまみることが出来ました。特に雄大なカナダロックーに三日間ドライブに案内して貰つたのには感激しました。

旅も終りに近づいたシアトルからロスへの飛行機では後部の五人席（中央にテーブルがある）で窓際にいた私の隣に真赤なスースの五〇才位の一見都會風の小母さんがいて、彼女が柄はずれの田舎者であることが判つたのは離陸してベルトをはずした直後のことでした。「何回も飛行機に乗つたことがあるか」と聞かれたので「長旅で何回も」と言つた。スト解消直後のため多勢の人が動き出し飛行機の予約がうまくいかず、会社側の suggestion も猫の目のように変わるのでついカツとして文句を言おうにもペラペラとは言えない悲しさ、東洋人だと思つて馬鹿にされているのではないかとひがみ根性が出てく

んでいた周りの人にも尋ね出したのでスチューワーデスまで加わってインディアンの遺跡だとからかい始めたので彼女カンカンになりながらも、皆と一緒に楽しんでいる風でした。アメリカにもこんな田舎者がいるということに勇気づけられ、また田舎者たることを恥じた自分が恥かしくなり、いや日本のような人口過密国は国全体が都会のようなものでアメリカという田舎へ旅行している……という考えへ飛躍し、その後空港カウンターではサ

声で話しかけるとイエス・サーとサーの部分の語気が一段と強くなる待遇を受けました。もう少し早く彼女に会っていれば旅はもつと快的だったろう……と悔まれました。なおチップを間違って余計に渡した時のボーキの応答も同じ語調であったのを思い出します。

（越後氏は本年九大工学部の助教授になられました。編集者）

白城会東京支部総会 に出席して

下 村 貢

（五十九回）

名倉新人会員代表の「乾杯」の合図で最高潮に達し、各テーブルでは昔日の思いも新たに終始なごやかに会は進行していく。

この会は新入会員歓迎会を兼ねていたため

先輩の方々は特に気を配っていたとき、やさしく、強く、これから的人生を指導して下さり、後輩のために門を開けておくからといろいろ御教示下さり、先輩の有難さを一層強く感じたことだらう。

また先輩のみなさんの母校に寄せられる閑

心も実に大きいものがありましたので姫路のようすを一寸お知らせします。

生徒の進路状況は「第十九回生の進路状況」を見ていただければわかるように九十

ングラスで人相を悪くして片ひじをカウンタ上に乗せ、一オクターブ下げたドスの利いた

五パーセント以上が進学希望を持って居り、本年も各大学において頑張りました。

またクラブ活動も体育部、文化部とともにその活躍は目ざましく、運動部においても例えば剣道の全国大会出場、陸上競技部の近畿大會への出場権獲得等あればきりがない位、文化部においても部の数は増し、放課後の教室は部の活動で下校時間までにぎわってい

る。

最後に支部総会を開くにあたり、会場準備、連絡等にお忙しい時間をさいて下さり支部の発展に御尽力下さった数多くの先輩の方々に心からお礼を申し上げると共に、今後ますます盛り上る支部のようすを本部へお寄せ下さるようお願い致します。

なお東京支部の皆さんで勤務先、住所、氏名等の変更がございましたら東京支部の事務所である東京都中央区銀座西七一六 金井ビル 前田知克（五十九回）宛に御連絡下さい。

白城会 大阪支部

第三回総会開かる

白城会東京支部総会は去る五月二十六日午後六時より新橋駅前ビルで数十名の先輩と十名余の新入会員の参加を得て開かれました。母校愛に燃える先輩のみなさんの堂々たるお姿に接して身のひきしまる思いがいたしました。桑田会長の挨拶に始まり、応援歌「鶯山に秋の」の合唱により会は一段と高まり、

で開催された。打ち集った同窓の先輩後輩総勢百二十名は午後六時から九時まで旧情を温めあい懐かしみあって感激にどよんだ。

白城会本部から空地理事長、安平副理事長

の御出席を得て一同は母校の発展をはるかに喜び合つた。支部長村田さん（大阪電圧器会長）副支部長早原さん（ハヤバラと呼ぶそろ

です）（天

王寺予備校

理事長）の

挨拶、会務

報告につづ

き、中尾君

（京阪神急行電鉄）の

会計報告、

空地理事長

栗田先生の

御祝辞を



頂き最長老井上潔氏の乾杯で宴会に入つた。

菅沼敏雄氏、上村隆影氏、尾田龍氏の旧先

生方、現役御活躍中の石坂豊明先生のチーム

ルスピーチを頂いて折しも宴たけなわの午後八時頃、現代若手落語界のホープ桂米朝さん（五四期本名「中川清」氏）の出席を得て、同

氏の苦心談を御披露願つた。氏ともなれば即席のテーブルスピーチがそのまま落し話になリユーモアと軽妙なしゃれが溢れていて会場はしばしば爆笑を湧いた。校歌、応援歌の合唱の後白城会副理事長安平康氏の万才三唱で次回総会の再会を約しながら閉会したのは午後九時前であった。

大阪を中心に活躍する同窓一同がはるか播州姫路の母校をしのびながらう校歌合唱は時田勇氏（三五期）のカメラにおさまったので詩とともにお送りします。

校歌合唱（時田勇）

遙かなる大先輩も

孫のような後輩も

姫中卒業生も

西校卒業生も

今は一つに融け合つて

（白城会大阪支部会計担当理事

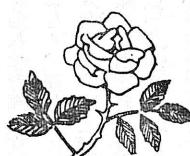
司会者 西高二回 長尾悟）

神戸阪神地区に居住、勤務する白城会員の友好親睦機関である阪神路中クラブの総会は七月十三日午後五時半三宮のパウリスタで開かれた。白城会神戸支部長は南健三氏。京都地区在住者は住所を高橋勘氏に届けること。

阪神姫中クラブ本年度総会

事も出席した。会長は永木広次氏（33）、副会長鍛治川浩義氏（47）、幹事阿部尚（60）で会員は二十二名である。今後の発展を祈る。

白城会マッチ部会結成



姫中、姫路西高の卒業生にはマッチ業界で活躍される方が多いが本年一月八日姫路の対城館で盛大に結成大会が開かれ、長谷川理